

陸直次郎 （陸直次郎） 小説家。明治二十一年一月十日（百東京生れ、昭和十九年八月十一日没（一九六〇—一九四四）。本名野澤嘉哉。早稲田大學中退。『時事新報』記者、讀賣新聞社出版部勤務を経て文筆生活。放送タレント野澤那智の父。

著書『大城功者出世の緒口』（本名、八版・昭和五年九月、千台恵高社）、

『運・鈍・根で行く』（同、五版・昭和八年四月五日萬里閣）、『趣

味のよもぎ簿』（同、昭和八年四月十五日明治圖書出版協會）、『星鹿

主の長大』（昭和十六年十一月二十日春陽堂文化出版株式會社「春陽

堂文庫」）、『黎明の志士』（昭和十七年七月二十日新興亞社）、『鈍

情山河』（昭和十七年八月二十日合書院）、『現代作家傑作文庫

—大陸の歌他四篇』（合著・久慈修太郎編、昭和十七年九月、千台八

針社杉山書店）、『ゆぐぎ地獄』（昭和二十二年十一月二十日千台八

針社）等。